別紙－２

建設リサイクル推進奨励表彰

表彰団体	取り組み
阿部善産業（株）仙台西部土質改良センター　（宮城県）	・建設発生土を受け入れおよび土質改良土の販売を平成１５年から実施している。 ・土質改良プラントとしては早期の事業開始 ・過去３年間の実績：約８２，０００ｍ３ ・仙台市内から発生する建設発生土を受け入れ、石灰処理により土質改良後、販売している。 ・建設発生土の有効利用により自然環境保全（新材採取削減および処分場の延命化）に寄与している ・民間建設会社等とともに東北地区土質改良推進協会を設立し、発生土の有効利用の普及推進活動にも取り組んでいる。
（有）エコファーム長井（山形県）	・建設事業等の伐採木の受け入れおよび堆肥化によるリサイクル推進を平成１４年から実施している。 ・過去３年間の実績：１２，８００ｔ ・伐採木を堆肥化し、農業用の肥料として販売している ・長井市が実施している地域循環型社会づくり「レインボープラン」の一環として実施。 ・市内の小学校や各種イベント等において、廃棄物リサイクルや堆肥等の重要性についての啓発活動も実施している。 ・醗酵のエネルギーとして、豆腐カラ、米のとぎ汁等の一般ゴミも利用している。
環境テクノサービス（株）　仙台改良土センター　（宮城県）	・建設発生土を受け入れおよび土質改良土の販売を平成１４年から実施している。 ・土質改良プラントとしては早期の事業開始 ・過去３年間の実績：約６８，０００ｍ３ ・仙台市内等から発生する建設発生土を受け入れ、石灰処理により土質改良後、販売している。 ・建設発生土の有効利用により自然環境保全（新材採取削減および処分場の延命化）に寄与している
県北建設資源再生協同組合（福島県）	・コンクリート塊、アスファルト塊の受け入れおよび再生砕石の製造販売を平成元年から実施している。 ・過去３年間の実績：１９８，０００ｔ ・平成１８年度にＩＳＯ１４００１を認証取得し、環境保全に対する強い意識を持って取り組んでいる。 ・廃棄物持ち込み業者に対しての啓発活動により、不法投棄防止に取り組んでいる。
東北地方整備局釜石港湾事務所（岩手県）	・久慈港湾内の浚渫工事によって発生した浚渫土（約１８，０００ｍ３）をケーソン内の中詰め材として有効利用を図った。 ・鉄鋼製造の過程で生じる副産物である水砕スラグ（約１４，０００ｍ３）についても中詰め材として利用した。 ・浚渫土の利用により、処分場の延命化に寄与するとともに、中詰め材として利用する砕石の採取抑制による環境保全およびコスト縮減に寄与した。

ユナイテッド計画（株）（秋田県）	・コンクリート塊の受け入れおよび再生砕石の製造販売を平成８年から実施している。 ・廃木材を受け入れ、チップ化後、バイオマス発電・ボイラー等のエネルギー資源として販売している。 ・建設汚泥については、オデッサ工法により再生土処理を行い再生利用している。 ・過去３年間の実績：Ｃｏ塊　１０４，６００ｔ 廃木材　　８，５００ｔ 建設汚泥　４３，１００ｔ ・多量に廃棄物を排出する事業者に対し、建設廃棄物の処理計画の提案を行いリサイクル対象品目を増やす等の啓発活動も実施している。

※順番は表彰者名称の５０音順になっております。

＜参考＞

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰（全国表彰）

リデュース・リユース・リサイクル推進会議会長賞　受賞

表彰団体	取り組み
前田道路（株）・八戸リサイクルセンター（株）共同企業体　エコプラザ八戸　（青森県）	・コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊の受け入れおよび再生加熱アスファルト合材等の製造販売を平成６年から実施している ・一般廃棄物であるガラス瓶を受け入れ、それを砂状に破砕したガラスを再生アスファルト合材の細骨材として使用した砂化ガラス入り再生加熱アスファルト合材の製造販売を平成９年から実施している。 ・砂化ガラス入り再生加熱アスファルト合材は青森県リサイクル製品に認定されている ・砂化ガラス入り再生加熱アスファルト合材の製造方法について特許を取得している他、循環再生技術がクリーンジャパンセンター表彰を受けている。 ・砂化ガラス入り再生加熱アスファルト合材の出荷量（シェア）は国内一（約 10,000t／年、ｼｪｱ 40%程度） ・各種塊、ガラス瓶の夜間受け入れおよび再生製品の夜間出荷の体制を整えている